

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23017
学校名：元町北小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・握力 ・長座体前屈 ・反復横跳び ・ 20mシャトルラン ・50m走 ・ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 ・ 上体起こし ・立ち幅跳び	・R7はグラウンドが使えなかったが、 玄関前を開放して縄跳びを推奨 、3種類の運動週間を設定、休み時間の体育館使用学年の増加、 特別教室の開放 などで、運動機会を確保してきた。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 ・握力 ・長座体前屈 ・ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 ・ 上体起こし ・反復横跳び ・ 20mシャトルラン ・50m走 ・立ち幅跳び	・男子と女子で、結果の傾向が異なる。男子においては、本校教員が4～5年時に 指導のポイントを統一・周知し、その上で児童にとって充実した体育の授業を行ったりした ことを継続した効果が出たと想定される。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツをすることが好き」と回答した子どもの割合… 男子→69.6、女子→42.2 ・「体育の授業は楽しい」と回答した子どもの割合… 男子→70.4、女子→40.9	・「体育の授業で、目標を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがある。だいたいある児童の割合… 男子→66.6、女子→81.1	・男女共通の課題として、 筋持久力 が低下したままであり、 全身持久力 が全国並みには向上していない。グラウンドが今年度から使えるようになるため、結果を注視する必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○課題探究的な体育授業の充実 ① ミニ研修の実施 ② 指導事項の周知、資料配付 ③ 授業における目標と振り返りの位置付け ○一人一台端末の効果的な活用 ○三間（仲間、時間、空間）の視点による体育活動の見つめ直しと運動機会の充実 ○年間計画に3つの運動週間を設定し、準備・片付けの時間を短縮。運動時間を確保。（鉄棒、マット、跳び箱） 	<ul style="list-style-type: none"> R8新グラウンドや体育館などを活用した、運動環境の整備（つい動かなくなる工夫） ○縄跳びカード・スキーチャレンジカードの改善・作成 ○運動場所・時間の確保を行う。休み時間に使えるスペースの確保や、複数学年が使用できるように割り当てる。 ○各種運動週間中は、休み時間も器具を使用できるようにする。また、見やすい掲示資料、統一した学習カード&ルールを採用し、学習効果を高める。 ○委員会活動において、児童の主体的な発案により、児童同士が関わり合う運動（遊び）を企画・運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭と連携したいのちの学習（性に関する指導・誕生学）を通じた、健康に関する学びの充実を図る。 ○栄養教諭と連携し食指導を充実させる。（お昼の校内放送など） ○玄関前ホールの掲示板や校内放送を利用して、スポーツや運動に関する情報を提供。 ○長期休み中と休み明け（特に夏季）を重点とし、生活リズムを整えたり、改善したりすることを促す取組の充実。
--------	---	--	--

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳学習は地域のスポーツクラブのインストラクター、スキー学習は保護者ボランティアに学習補助を依頼する。 ○児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校関係者評価委員会等の活用
--------------	--